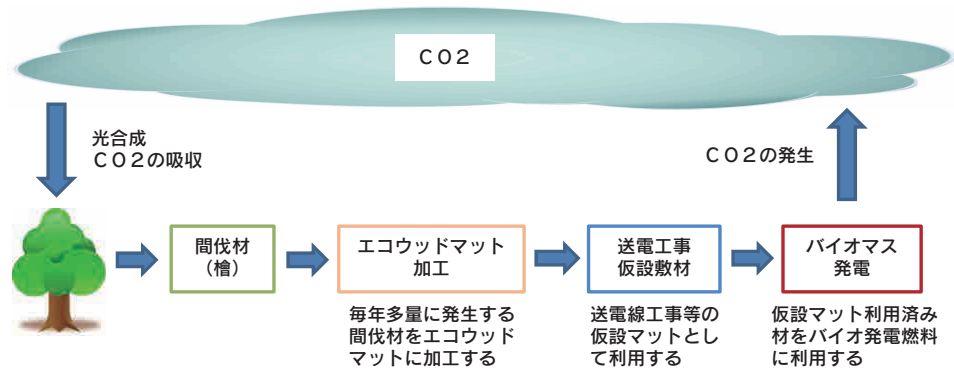


エコウッドマット

エコサイクル（カーボンニュートラル）



詳細説明

施策概要 間伐材を利用した「エコウッドマット」を開発し、運搬・敷設時の費用削減、及び資機材軽量化による設置・撤去時の安全性向上を図る。

適用範囲 送電線工事の仮設道路（A型・B型相当）に適用できる。

カイゼン 【新規開発】

- ポイント**
- ・鋼製マットが入手困難のため、その代替品として自社で開発した「間伐材を使用した仮設用マット」である。
 - ・鋼製マットに比べ、安価である。
 - ・軽量であるので、クレーンモード付小型バックホウ（0.2t吊）で敷設できる。
 - ・鋼製マットに比べ強度は劣るが、農地など柔らかい土の表面にベタ敷きするには問題ない強度を有する。

【現場負担軽減】

- ・マット幅を「0.3m/枚⇒1.0m/枚」に変更し、バックホウでの敷設回数を減らした。
- ・マットの連結を「番線固縛⇒ボルト締付」に変更し、スキルレスとした。
- ・上記2項目により、連結作業時間を減少（110s/m⇒30s/m）することができた。

【SDGs & カーボンニュートラル】

- ・マットに間伐材を使用することで、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している。
間伐によって、下層植生が生い茂り、表面土の流出が抑制され豊かな土壌環境が形成される。
「目標 15：陸の豊かさを守ろう」、「目標 11：住み続けられるまちづくりを」につながる。
- ・また、カーボンニュートラルにも貢献している。
 - ①間伐材利用で、木材中の炭素を長期間貯蔵（炭素貯蔵効果）
 - ②鉄に比べて製造・加工に要するエネルギーが少ないので、二酸化炭素排出量を抑制（省エネ効果）
 - ③マット使用後に燃料として利用（化石燃料代替効果）
- ・「伐る・使う⇒植える⇒育てる（間伐する）」森林資源を生かす循環型林業に貢献している。

手配方法 当面、株式会社 和田電業社に連絡して頂ければ、手配できる。

注意事項 エコウッドマットの連結部の隙間は、単管パイプで埋め、かつ、歩行通路には、「歩行者用マット」を敷設し、転倒・つまづき防止対策を図る。（現在、連結部の隙間を縮める対策を逐次実施しております）



バックホウによる敷設状況

